



◇せせらぎ街道

「飛騨署」高山市の南西部に位置する清見町に西ウレ国有林があります。この国有林を横断する形で高山市から郡上市に抜ける「せせらぎ街道」では、四季折々に姿を変える美しい風景がドライバーの目を楽しませてくれます。

静寂の中、雪に覆われ堪え忍ぶ姿は、まるで水墨画のようです。その後、融雪とともに沿線の木々が春の訪れを知らせる新緑のトンネル。更に、街道に並行して流れる溪流が、蟬の声と浅瀬の水音だけをBGMに、木漏れ日に輝く夏。そして、何といっても圧巻は秋！…。

例年、十月中旬から十一月にかけて西ウレ峠（標高一、一三三メートル）付近は、紅葉一色となります。カラマツの朱色をベイスに、同系色のイタヤカエデ、ブナ、ナラ、トチなどがメリハリと深みを添え、ハウチワカエデの燃えるような赤と、散りばめられた銀糸を連想させるシラカバ

の樹皮の色…。その光景は、まさに金屏風そのものです。機会があれば是非ご覧ください。

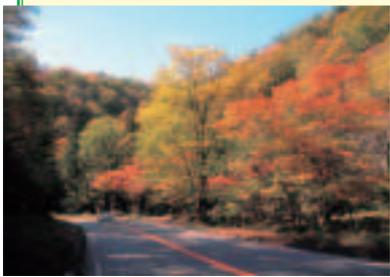
また、この西ウレ峠は太平洋側にそそぐ馬瀬川と日本海側へと向かう川上川との分水嶺で、それぞれの源流部が道脇より眺められることから、多くの方々が立ち寄られます。

◇アクセス方法

高山市役所清見支所（旧清見村役場）から県道七三号線（主）「高山清見線」を郡上市方面へ車で約三〇分



冬のせせらぎ街道



夏のせせらぎ街道